

日本労働組合総連合会 東京都連合会(連合東京)

HP : <https://www.rengo-tokyo.gr.jp/>

団体概要

連合東京は、東京都内で働く125万人の勤労者で組織する労働組合です。連合組合員は全国で700万人です。連合は「働くことを軸とする安心社会」の実現をめざして、産業優先の東京を「人間優先の東京」につくり変えていくことを大きな目標にしています。また、東京都を4つのブロックに分け、それぞれブロック地域協議会を設置してより身近な活動を行っています。

支援対象

中学校/高等学校

活動内容・活動状況

○労働寄付講座

これまで、首都大学東京(東京都立大学)、法政大学、中央大学、埼玉大学において労働寄付講座を行っています。働く意味、ワークルール、職場の課題、労働組合の役割などについて講義を行いました。



○ものづくり教室

電機・鉄鋼・造船・自動車・精密機械など、金属・ものづくり産業の労働組合の仲間と、毎年、小学生を対象にもものづくり教室を行っています。モーターカーの組み立てを通して、ものづくりの楽しさを体験してもらっています。



対応可能時期

日程が合えば随時可能です。

必要経費

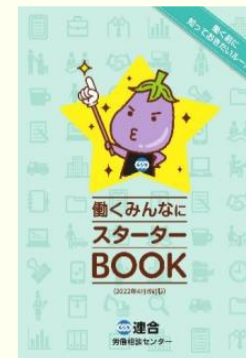
原則無料です。

会場・定員・必要備品等

依頼された学校の施設内で行うことを想定しています。パワーポイント等が使える環境があればお願いすることもあります。なくても対応できます。

○連合「働くみんなにスターターBOOK」の配布

連合は、働く上で必要な最低限のワークルールをまとめた「働くみんなにスターターBOOK」を、都内大学・専門学校のキャリアセンター等を通じて学生に配布しています。今年も計17校に1,200を超える部数を配布しました。また、大学からの要望によりワークルール出前講座を行っています。



○子ども食堂への学習支援ボランティア

連合東京では、「私たちが暮らす社会で苦しんでいる子ども・若者を応援したい」という思いから、福祉団体やNPO等とともに「子ども・若者支援プラットフォーム(愛称:HOPE・ほっぺ)」を立ち上げ活動しています。その一つとして、子ども食堂等に学習支援ボランティアを派遣し、子ども(小学校中学年から中学生)の学習、学習習慣定着を支援しています。

子ども・若者支援 プラットフォーム



担当者より一言

無償ボランティアで対応可能です。将来社会に出る学生に向け、働く現場や働く上で必要なルールについて話ができます。必要に応じて、オンライン(Zoom)での授業もできますので、ご相談ください。